

「男性のためのフレッシュ講座」レポート

第4回

介護を知ろう

プロフィール

児玉顕子さん

- ・大分市社会福祉協議会 在宅福祉サービスセンター
- ・サービス事業係長
- ・1級ヘルパー・介護福祉士
- ・昭和52年より社協ヘルパーとなる

藍沢文子さん

- ・大分市社会福祉協議会 在宅福祉サービスセンター
- ・主任ヘルパー
- ・1級ヘルパー
- ・平成8年より社協ヘルパーとなる

平成11年11月～平成12年3月までの5カ月に渡ってコンバルホールで全5回実施され、参加者の皆様に好評だった「男性のためのフレッシュ講座」。その内容は、1回目：「料理(朝食作り)」、2回目：「料理(簡単料理)」、3回目：「生活百科」、4回目：「介護体験」、5回目「外国料理と交流」、とバラエティーに富んだ内容でした。

今回は第4回目の「介護体験講座」のレポートをお届けします。



▲「ちょっとしたコツが大切」と講師の児玉さん

実習

身体介護（おむつのあて方）

- ・ボディを使つての実習。男性用、女性用に違いはあるが、基本は同じ。
- ・藍沢さんの指導で、参加者が実際に体験。簡単な作りのようだが、慣れないとなかなかうまくあてられない。

体の動かし方（寝たきりの人の移動）

- ・一人で、寝たきりの人を動かすのは体全体を上手く使わないと、介護者が体を痛めてしまう。何から何まで手取り足取り介護するのではなくコツをつかむことが大切であることが強調された。

車椅子での介助

- ・声をかけながら、出来るだけ不安を取り除くように介助しなければならない。
- 参加者の大半は、初めての乗車体験だったようで、思いの外、地面の震動が体に伝わることに驚いていた。

*****参加者の感想*****

- ・介護は実際、大変なことと体験して分かった。今日は参考になりました。
- ・85歳を越えた親がいるので、もう老老介護でこれからが心配です。
- ・実際に実習して、力の入れ方が違うことが分かった。
- ・女房を3カ月介護して見送りました。人の親切は照れずに受けた方がよい。
- ・この講座は妻が骨折で入院し、切実に介護を勉強しなければと感じ、キッカケとなりました。この体験を通して一人暮らしのかたの手伝いが出来たらいいと思います。